平成27	1年度(,	<i>対20</i>	争	猪	事	未	Ē.	ŕ	1四	衣	作成	日立	区成 2	1 年 5	月 1	l8 日			
部局名	名 産業活力部 所属			所属名	商	商工課			所属		長名	東房子	電言	電話 483-1151 内線3570)			
1. 事	1. 事務事業の位置付け・概要(PLAN)																		
コード 3280 事務事業名称 商工振興事						業								短縮:	コード	経常	3280	臨時	3281
予算区分	会計	01	一般会計		款	07	商工費				項	01	商工費	目	02	商工振	興費		
区分	☑ 自河	☑ 自治事務 □ 法定		定受託事務	受託事務		法令等	八千代市商業活性化推進事業補助金交付要綱・八千代市商店街共同施設設置事業補助金交付要綱・ 八千代市八千代商工会議所運営補助金交付要綱・八千代市商店街等情報システム導入事業補助金交											
□ その他																			
事業概	事業概要(事務事業を開始したきっかけを含めて記入)																		

- ・昭和56年度より、市内商店街(会)の振興及び環境整備を図るため始まった。
- ・昭和61年度より、近隣への大型店進出により商工会議所と対策協議をきっかけとして始まった。

概要として、○商工業団体育成事業 ○商業活性化推進事業 ○商工会議所運営補助

事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測 5本の柱(章) 産業活力都市をめざして 05 個人消費の低迷。平成8年に東葉高速鉄道の開通により人の流れが変化 大項目 (節) 02 商工業 した。大規模小売店法の改正による大型店の出店。世界的な経済不況。 総合 01 商工業 中項目 計 画 の施策 01 商業の振興 小項目 (施策) 体系 商店街環境整備の促進 02 細項目 03 賑わいのある商店街の形成 高齢化に対応した商店街活性化プログラム実施支援事業 5201 実施計画の 計画事業 計画事業期間 計画事業の位置付けの有無 計画事業費 千円

車務車業の日的・指標・宝繕 (DO)

2. 事務事業の	目的・指標・実績(DO)				
対象 (誰を何を対象にし ているのか)	商業団体(商店会・商店街振興組合・商業協同組合) 商工	業経営者・	商工会議所		
手段(見なめた事務事業	※平成20年度に実際に行ったこと: 商業活性化推進事業(各商店会等が行う集客のためのイベン 商店街共同施設設置事業→商店街の街路灯の電気料の補助・ 八千代商工会議所が行う事業に対し,22,835,491円の補助。				円の補助。
(具体的な事務事業 のやり方、手順、詳 細)	※平成21年度に計画していること: 20年度と同様の事業内容であるが,街路灯 1基の廃止 3基は	無い。また	, 新たに街路灯12៛	悪の廃止をする。	
意図 (何を狙っているの か)	1. 地域住民が地元の商店街で買い物をする。2. 商店会等の加えを図り、集客を通じて活性化を図る。5. 地場消費の増加を図る。			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	店会の施設整備
結果 (どんな結果に結び つけるのか)	入力対象外				
			19年度	20年度	2 1 年度

つけるのか)			19年度	2 0 年	2 1 年度			
区分			単位	実績	計画 実績		計画	
	指標 1	地域商店会・商店街振興組合・商業協同組合	団体・人	14	14	14	14	
対象指標	指標 2	2 街路灯を設置した商店会数		14	14	14	14	
	指標3	3						
	指標 1	票1 事業実施団体数・総事業費		7	14	14	14	
活動指標	指標 2	街路灯数	基	487	489	489	477	
	指標3							
	指標 1	新商店数	%	3. 2	9	0	9	
成果指標	指標 2	空き店舗の実活用数	店	0	0	0	1	
	指標3							
	指標 1							
上位成果指標	指標 2							
	指標3							

⊐ -	-ド 3280 事務事業名称		美名称	商工振興事業			所属名	商工課		
単位					1 9 年度	2 0 年度				2 1 年度
					実績	計画	実績		計画	
			国	千円						
			県	千円						
	財源内訳		地方債	千円						
_			一般財源	千円	27, 435	30, 297			26, 869	29, 418
事業			その他	千円	0	0			0	0
費 (A)	主な事業費の内訳				消耗品費 15,790円 食糧費 5,600円 保険料 39,000円 委託料 361,305円 補助金 27,013,887円	賃金 207,000円 旅費 9,000円 消耗品費 14,000円 補助金 30,067,000円	賃金 207, 旅費 1,58 消耗品費 補助金 26	80円 13,872円		旅費 9,000円 消耗品費 14,000円 補助金 29,395,000円
人件	人件費(B) 千円			千円	13, 264. 4	8, 704. 8	12, 674. 9		12, 674. 9	10, 882. 1
トータルコスト(A)+(B)			A) + (B)	千円	40, 699. 4	39, 001. 8			39, 543. 9	40, 300. 1

3. 事務事業の評価(SEE)

-									
評価 類型	評価事項	評価区分	理由						
		☑ 結び付いている	上位の施策「商業の振興」を推進するために、商工振興事業を実施しており、結びついている。						
	 ①事業目的が上位の施策に結びつ	□ 結び付くが見直しの余地がある							
	いているか?	□ 結びつきが弱い・ない							
		□ 評価対象外事項							
		□ 達成している	商店会の集客イベントへの補助,街路灯の電気料金補助,商工会議所への補助等継続的に実施 していく事業である。						
В	②すでに所期目的を達成しているか?	☑ 達成していない							
目的妥当	※「達成している」を選んだ場合、⑥ に進んでください。	□ 評価対象外事項							
ヨ 性 	③民営化で目的を達成できるか?	□ 可能性はある	商店会等の民間,自らが行う事業に,市が支援しているものである。						
	※民営化・・・事務事業の全部又は一 部の実施主体を全面的に民間事業者等 に移行すること。	☑ 可能性はない							
	(民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	□ 評価対象外事項							
		☑ 現状のままでよい	所期目的に変更はなく、現状の対象・意図の設定で結果に結びつく。						
	④「対象」・「意図」の設定は現 状のままで良いか?	□ 見直す必要がある							
		□ 評価対象外事項							
		□ 有効性向上の可能性がある	市民サービスの向上と高齢化社会の進展に鑑み、商店街の活性化を推進する必要があることから、19年度に「高齢化社会に対応した商店街活性化プログラム」を策定。「空き店舗の活用」						
	5今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか?	□ 効率性向上の可能性がある	等,このプログラムを実証する21年度以降の支援として,商工会議所と連携し,実施主体である 団体を創成していきたい。						
	可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記	□ 両方可能性がある							
	入する。 	☑ 可能性がない							
有	⑤-2 有効性や効率性を向上さ	□ 民間委託等							
効 性 •	せる手段は何か? 該当する手段を選択し、	□ 臨時的任用職員等の活用							
効率	具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」	□ IT化等の業務プロセスの見直し							
性	である場合は、該当する類似事業を記入する。	□ 受益者負担の見直し							
		□ 類似事業との統合・役割見直し	類似 事務 1 実施主体 (所管部署)						
		□ 上記以外の方法	事業 実施主体 名称 2						
	5-3 推進にあたっての課題はあ るか?(一時的な経費増・市	□ ある							
	るが?(一時的な経貨店・市 民の理解等)	口ない							

								Γ			
□-	-ド 3280 事務事業名科	商工振興事業					所属名	商工課			
		□改革・改善	して継続		「高齢社会に を創成し,支援	対応した商店街活性化プ	゚ログラム」	に基づき,	商店街活性化促	進の実施主体	
	⑥この事務事業の今後の方向性を 択し、その詳細について右欄に記え		D拡大・縮小	女善	で高川以 し、 又1家						
今後の方	ta.	廃止(事業完	三了含む)								
		□ 休止									
向性		☑ 現状のまま	継続								
III.				経	費	実施主体の団体を創成	する段階を	なので、成身	果・経費とも不変	である。	
			削減不		变 増 加						
	⑦この事務事業の今後の経費・成果 の方向性について選択し、右欄に野										
	由を記載する。	不変		/							
		低下									
<i>Ξ σ.</i>)事務事業に対する市民や議会の意見 引部サービス業務の場合は、住民では	(担当者が把握し ⁻	ている意見)	如明の音	- 目め宝能かじ						
	指的					 が少かく選びにくい。肉!	屋 物菜σ)商品を取り) 扱う店の要望。	 各商店会の魅	
	力付けがほしい。 空き店舗の活用について商業施設のみならず老人施設や保育施設等多様な活用が求められている。										
所属長コ	本事業は妥当な評価と考える。なる	3、補助金について	は、商工業	の振興)	及び活性化を図	るという目的を考慮した「	中で、改善	手すべきは改	(善していく。		
メント											
		担当課の評価のとお	。 り現状のす	ミま継続	とする。						
評価	□ 手法プロセスの改革・改善 □ 事業規模の拡大・縮小										
調整委	□ 統合・役割見直し □ その他										
委員会	□ 廃止(事業完了含む)										
評価	□ 休止										
	☑ 現状のまま継続										